

## あぶくまロマンチック街道 沿線自治体の物産フェア



たくさんのお客様に、おいしい出会いを通して、飯館村の魅力、あぶくま地域の魅力を感じていただきました。

2月3日・4日、「コラッセふくしま」(福島市)で『あぶくまロマンチック街道沿線地域物産フェア』が開催され、村からは「いいたて結い農園」「村カフェ753(なごみ)」「ニコニコ菅野農園」が出店しました。

主催は「国道399号あぶくまロマンチック街道沿線自治体連絡協議会」。あぶくま山系を縦断する国道399号線の沿線自治体と関連団体が連携し、地域の魅力を発信しています。物産フェアには、各地域から選りすぐりの個性豊かな産品が並び、来場者が出店者と言葉を交わして買い物を楽しんでいました。

## 内堀雅雄福島県知事が 長泥地区を視察



センターの見晴らし台から周辺を見渡し意見を交わす内堀知事(手前の2人の左側)と杉岡村長(同右側)。

1月24日、内堀雅雄福島県知事が来村。長泥地区に整備された「長泥コミュニティーセンター」を訪れ、出迎えた杉岡村長の案内で視察しました。

同センターでは、住民が外部の支援者をつながりを深め「長泥植樹祭」などを開催していること、「花の里長泥」の再生に取り組んでいることなどを、杉岡村長が紹介。内堀知事は「もともと絆の強い素敵な場所。(コミュニティーセンターは)住んでいた人が集い、地区外、村外の人も加わって素晴らしい拠点になると思う」と力強く応えていました。

## 南相馬ロータリークラブから 村の子ども達へ絵本の寄贈



遠藤充洋会長(中央)、幕田正高実行委員長(右端)から目録を受け取る高橋祐一教育長職務代理者(左端)。

2月15日、原町ロータリークラブ(南相馬市)から、いいたて希望の里学園とままでの里のこども園の子ども達へ、図書の寄贈をいただきました。同クラブ創立60周年の記念事業の一環で、図書を自由に選べるよう購入費として10万円を贈っていただきました。

また、同クラブからは、毎年、新入学児童に「ありがとうノート」を贈っていただいています。子ども達が「ありがとう」と感じたことを自由に書き留められる素敵なノートです。子ども達の心を育むさまざまなご支援、本当にありがとうございます。

## 善仁寺で防火訓練 第70回文化財防火デー



訓練には飯館分署、村消防団、村教育委員会、村文化財保護審議会などから関係者約50人が参加しました。

1月28日、善仁寺(草野)で『文化財防火デー消防訓練』を実施しました。今回の訓練では、善仁寺に隣接する家屋からの火災発生を想定し、関係者による初期消火や避難誘導、重要物品の搬送訓練、消防団・飯館分署による一斉放水訓練を行い、文化財に対する理解と認識を深め、防火の意識を高めました。

昭和24年1月26日、世界最古の木造建築物「法隆寺」の金堂壁画の焼損をきっかけに定められた「文化財防火デー」。この日を中心に、文化庁と消防庁が協力し、全国で文化財防火運動を展開しています。

## 第69回県広報コンクール 「広報いいたて」今年も入賞!



村と皆さんをつなぐ広報紙。これからも村の顔として皆さんに寄り添い、元気を発信していきます。

2月15日、『第69回福島県市町村広報コンクール』の表彰式が、福島県庁で行われました。1月中旬に行われた審査会において、「広報いいたて令和5年5月号」が広報紙(町村部)部門で佳作に入賞しました。「広報いいたて」の入賞は、今回で3年連続。震災後から数えて10回目の受賞になりました。取材にご協力くださる村民の皆さんと一緒にいただいた賞です。本コンクールは毎年開催されているもので、今回は県内35市町村が参加し、応募総数は85点、うち入賞作品は19点でした。

## 交流を深める ふるさとの担い手交流会



2月3日、交流センター「ふれ愛館」で、『飯館村ふるさとの担い手交流会』を開催しました。当初は移住者を対象に実施してきた交流会ですが、4回目となる今回は、より交流の幅を広げようと、村出身の方も参加できるよう規模を拡大しました。

この日は、「いいたて風だんご汁」の調理班と、「竹の箸」を制作する班に分かれて作業を行いました。「飯館村食を考える会」の皆さんも参加し、参加者の皆さんをサポートしていただきました。最後は参加者全員で、だんご汁を食べながら交流を深めました。

「いいたて移住サポートセンター」が主催。約40人の担い手の皆さんが、楽しく活動しました。